



【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30
土・日曜日 10:00～17:00
祝日(3日・23日) 10:00～17:00

【休 室 日】毎週月曜日

※貸し出し冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの1冊

帰命寺横丁の夏

柏葉 幸子 著

カズが夜中に見た白い着物の女の子は幽霊だったはず。なのにその子が同じクラスでみんなと楽しそうに話している。わけがわからない。自分だけあの子のことをなんにも知らないなんて。なぜ? どうしてなのか!

カズの家が旧町名の「帰命寺横丁」にあることがわかってから周りが急に騒がしくなってきた。

カズの物語が進んでいくなか、入れ子の構造でもう一つの物語が展開していく。夏休み、小学5年生が町を駆けめぐる。



新着本案内 (主なもの)

★ 一 般 書 ★

- 絵をかいていちんち まどみちお
- 峠うどん物語 上・下 重松 清
- 謝罪代行社 ゴラン・ドヴェンカー
- でーれーガールズ 原田マハ
- 緑の毒 桐野夏生
- 平成猿蟹合戦図 吉田修一
- ヒポクラテスのため息 福田和代

★ 児 童 書 ★

- おちばいちば 西原みのり
- 地震の夜にできること。 松本春野
- エリザベス女王のお針子 ケイト・ペニンントン
- あきねこ たなか鮎子
- セキタン! 須藤靖貴

みんな集まれ! 子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内 容 「パタパタ鳥」をつくります

持ち物 ハサミ 油性ペン

日 時 11月19日(土) 10:00～

場 所 町民センター2階 小会議室A

申し込みは直接図書館へ または、☎82-5221

◇10月のおはなし会 (第2土曜日、第3水曜日) ◇

日 時 11月12日(土) 10:30～

11月16日(水) 15:00～

場 所 町民センター3階図書館

申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう!

- 家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動の定着・推進を図ります。

*文 芸

開成町俳句協会

俳 句

託されし狛犬凛と神の留守
運動会ホルン吹く子の晴れ舞台
秋草を刈る音天に轟けり
風に揺れ枝にたわわの零余子かな

波多野すみ枝
下沢 操子
瀬戸 悦子
濱本 主雄
芝田 みち子 選

零余子^{むかごて}掌に輪廻転生とは何ぞ

遠藤シズ子

山芋類の肉芽。秋になると蔓の葉の際に暗緑色の粒がなる。茹でたり炒ったりする。零余子飯にもする。「輪廻転生」の起用がいい。根にはしつかり山芋をみのらせ、地上には実を結ばせる。

近藤 正臣 選

ともしび短歌会

短 歌

九月詠

咲きのぼる 凌霄花^{のうせんかづら}のその先に
酷暑の空が大手を広ぐ

諸星 末子

結句は、一体どの様な思いで大手を広げているのだろうか。この歌は、「凌霄花」と「酷暑の空」の動作に擬人法を用い、童話のイメージに、ユーモアが感じられ、一枚の絵を見ているようである。

驚草^{おどろくそう}のとびたつさまのたくましさを
託して夕べ迎え火を炊く

杉本シズ子

亡夫が育てていた驚草は、今年も清楚ながら、遅しく飛び立つ様で咲いた。その姿に種々の思いを重ね、御霊を迎えたという。「たく」音の繰り返しとその表記の相違が歌に趣と変化を与えている。

湊 きみ子

一見見逃してしまいそうな情景も、目ごろから身近な自然に目を向けておられる作者によつて、この歌のような発見のあることに気付かされる。比喩的表現にも新鮮さを感じる。



ぶらりと歩きながら開成町の文化を発見、
歴史を再確認してみませんか。
開成町に残る遺蹟を紹介します。



木食観正碑



木食観正碑 (香徳院境内左側) 木食観正碑 (岡野ふれあい公園西側)



(文責 文化財保護委員会 久保田 和男)

木食とは食事にお米などを食べずに、木の实など粗末なもの食べて行う修行のことです。
観正は江戸時代の後期、宝暦四(一七五四)年に淡路島洲本の漁師の家に生まれ、喜作と名のつていました。若い頃約十四年間にわたり、四国遍路や西国、坂東、秩父の巡礼に励み、独学で加持・祈祷(占つて人々を救うおまじないのこと)の能力を持つようになりました。やがて、人々から木食観正と呼ばれるようになった頃、東国に下つて、評判の良い僧として迎えられました。
文政元(一八一八)年、湯河原から根府川村に入り、眼の病氣や足の痛みでなやむ人々を加持・祈祷で治しました。また、水不足で苦しむ石橋村では湧き水をふやしたので、今弘法(弘法大師のように何でもかなえてくれる人)とも呼ばれました。

開成町には、岡野ふれあい公園、金井島香徳院、上延沢自治会館北に観正碑が残っています。どの碑にも「太陽の子」を意味する梵字(インドの古い文字)が刻まれています。おそらく札押碑として建てられたのでしょう。その頃までは、人々は病氣や願いごとがあると、神仏にすがったり、おれやお守りに守ってもらったり、祈祷師にお願いしたりしていました。町内にはこの他に木食唯念の札押碑も残されています。

駐在所 だより



松田警察署

延沢駐在所

☎83-5434

吉田島駐在所

☎83-5457

飲酒運転は絶対にしない、させない

11月は「飲酒運転根絶強化月間」です

平成18年以降の取り締まりの強化及び飲酒運転根絶に対する社会的気運の高まりや、平成19年以降の厳罰化等により、飲酒関係の事故は減少傾向にありますが、いまだ尊い命が失われています。
飲酒運転は犯罪です。「少しくらいなら」という甘さを取り返しのつかない事態につながります。

○車を運転する方は…

飲んだ量に関わらず、飲酒運転をしてはいけません。「ちょっとしか飲んでいないから」「少し休んで醒ましたからいいだろう」「近くだから大丈夫」と運転するのは禁物です。また、自転車も車両の仲間です。飲酒をした際には、自転車も運転してはいけません。

○お酒を提供した人と同乗者にも、責任があります!

飲酒運転になることを知りながら酒をすすめたり、販売・提供したり、車を貸したりすることも罪に問われます。飲酒運転の車に乗り、送迎させたりすることも同様です。周囲の人たちが飲酒運転をやめさせ、タクシーや代行運転などを利用するよう促しましょう。

○飲酒運転を防止するためには…

飲酒を伴う会合や宴会では、幹事さんをはじめ、参加する人たち同士で注意し合い、飲酒運転を起こさないようにしましょう。
・車で参加した人のキーを預かりましょう。
・お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決めておきましょう。